第６次阿南町総合計画（後期分：Ｒ7～Ｒ11）　評価表

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
④魅力的な地域をつくる	1 地域が元気で時代にあった安全・安心なくらし	①コミュニティと行政のあり方を見直し、地域が元気になるまちづくりを目指します。	★コミュニティ活動への支援の在り方の見直し ★集会施設等への支援 ★各種委員の見直し ★地域おこし協力隊制度の活用 ★住民と行政の意見交換会の開催 ★社会福祉協議会や民生児童委員との連携 ★福祉の地域づくりの推進 ★生活困窮者の自立した生活を支援する体制づくり ★買い物に困っている住民の支援	地域のコミュニティ数(地区)	総務課		53	53	53		100.00%	順調	コミュニティ数は維持できている。	現状維持	行政委員等の選出ができない地区については相談に応じるなど、地区の状況により適宜対応していく。
				地域おこし協力隊の隊員数(人)	総務課		1	1	1	R7～　1名	100.00%	概ね順調	現在の１名の隊員が、スポーツによる地域活性化・振興業務にて活動を行っている。	現状維持	引き続き、隊員の活動が円滑に行えるようサポートしていく。
		②町内への情報発信として、町の施策や補助事業の積極的なPRを行うとともに、代替手段の検討により現在の水準を維持しながら文書配布などの労力やコストの削減を図ります。	★まちづくり活動への支援 ★区長文書の労力・コストの削減 ★CATV自主放送の充実 ★出前講座 ★スマートフォンの実践教室(誰一人取り残されないための取組み)	CATV自主放送の番組数	総務課	実績による（01行政係（広報担当）>03CATV>番組制作・放送>02_番組放送実績）	60	60	51		85.00%	概ね順調	時間の長い番組について前編・後編に分けて放送したことも目標値達成の要因となるが、切れ目なく自主放送は実施できている。	現状維持	引き続き現状維持で放送していく予定である。時間の短い番組は一週間の間に２番組放送する工夫をしていく。
				町職員による出前講座・防災講演会(回)	総務課		9	9	6		66.67%	概ね順調	大下条小学校（2回）、新野小学校職員向け（1回）、阿南第一中学校（1回）、阿南高校（1回）、阿南少年自然の家（1回）から派遣要望をいただき実施。	現状維持	引き続き派遣要望などに応じて実施していきたい。
		③車が運転できない人たちの足(交通手段)となる地域の実情にあった公共交通を目指すとともに、高齢者の交通事故防止に努めます。	★地域や利用者ごとのニーズ把握と協議会の開催 ★町民バスの維持及び改善 ★民間事業所と連携した公共交通システムの調査研究 ★南部公共バスのダイヤ改正に合わせた町民バスのダイヤ改正 ★広域交通充実のため、広域的な交通手段との連携 ★移動に制約がある住民の移動手段の支援 ★交通安全啓発活動の推進 ★交通指導所の開設 ★免許返納者への支援 ★最新技術を活用した高齢者の交通事故減少対策	町民バスの利用者数(人)/年	総務課		1,423	1,400	814	免許返納者を含んだ有料乗車数	58.14%	要改善	町民バスの利用者は減少傾向にある。	改善	限られた人的・財政的リソースの見直しを行い、地域交通の存続と利便性の向上を目指すために、令和８年度から圏域（広域）での運行関連業務等の共同化を推進する組織体の構築を検討する。
				新たな交通システムの構築	総務課		未実施	実施	未実施		未達成	要改善	令和８年度から、新たな交通システムの構築の検討を始める。	改善	限られた人的・財政的リソースの見直しを行い、地域交通の存続と利便性の向上を目指すために、令和８年度から圏域（広域）での運行関連業務等の共同化を推進する組織体の構築を検討する。
				タクシー券の利用者数(人)	総務課		2,103	2,100	2,298		109.43%	要改善	タクシー券の利用者は年々増加傾向にあったが、令和６年度をピークに若干減少傾向にある。	改善	限られた人的・財政的リソースの見直しを行い、地域交通の存続と利便性の向上を目指すために、令和８年度から圏域（広域）での運行関連業務等の共同化を推進する組織体の構築を検討する。
				交通死亡事故0日の継続(日)	総務課	当該年度末日の継続日数	505	1,800	1,234	前回の死亡事故：R4.11.12	68.56%	概ね順調	令和７年８月８日に交通死亡事故1,000日を達成した。	現状維持	引き続き、交通死亡事故0日が継続するよう交通安全の普及啓発を行っていく。
				交通指導所の開設(回)	総務課		2	2	2		100.00%	概ね順調	計画どおり実施できた。	現状維持	引き続き、継続していく。
		④生涯学習を社会教育の中心に据え、住民福祉の向上につなげていきます。	★各種行事の充実 ★住民の意見を聞く場の設置 ★各種講座・教室の充実 ★社会教育施設の充実 ★社会教育活動の支援 ★図書館の利活用の推進 ★人権意識の高揚 ★男女共同参画社会の推進 ★阿南町博物館構想	公民館を主とした生涯学習(体育事業を除く)への参加者数(人)	教育委員会	公民館を主とした生涯学習(体育事業を除く)への参加者数(人)	725	725	692	ANANフォトコン 成人式・水引わら細工ワークショップ・ANANシネマ・京都大学演奏旅行・おいしい野菜チャレンジ・深見釣り大会・趣味の展示会・南部地区芸能交流会	95.45%	概ね順調	継続事業・新規事業に取り組んだことにより事業数の増加となり参加者数も増加した。	向上	今後、地域間でのコミュニティ形成が希薄になるため集いの機会の提供。公民館での共催事業等への取り組みを行う。
				図書館の利用者数(人)	教育委員会	図書館の利用者数(人)	6,214	6,000	5,866	(R5)　本館利用者　4,347人 図書館車利用者　1,867人 (R6)　本館利用者　4,133人 図書館車利用者　1,817人 (R7)　本館利用者　4,255人 図書館車利用者　1,611人	97.77%	概ね順調	人口減少とともに図書館利用者数も減少しているが、移動図書館や各種講座等を充実させることにより、貸出冊数は年々増加している。	現状維持	利用しやすい図書館となるよう、引き続き、移動図書館車の充実や講座開催等を行いたい。
				人権学習(講演会・館報・映画鑑賞等)の回数	教育委員会	人権学習(講演会・館報・映画鑑賞等)の回数	2	2	2	男女共同参画セミナー 東日本震災映画上映	100.00%	順調	映画上映については、住民の方より要望のある映画を上映。	現状維持	住民の方々のニーズにアンテナを張り、有意義で人権意識の向上となる事業を図る。

第６次阿南町総合計画（後期分：Ｒ7～Ｒ11）　評価表

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
				阿南町博物館計画の策定	教育委員会	阿南町博物館計画の策定	未実施	実施	未実施		未達成	要改善	策定作業を進めている。	改善	コミュニティの森整備事業を踏まえて計画を立てる。
④魅力的な地域をつくる	1 地域が元気で時代にあった安全・安心なくらし	⑤子どもから高齢者・障がい者の方まで、気軽にスポーツが楽しめ、健全な心身を養い、ともに励ましあえる仲間づくりを目指します。	★スポーツ施設の整備 ★スポーツ施設の利用促進 ★各種スポーツ大会の実施 ★青少年のスポーツ活動の振興 ★障がい者のスポーツ活動の振興 ★スポーツの視野拡大 ★生涯スポーツの促進	ニュースポーツ・海洋レクリエーションの体験会開催(回)	教育委員会	ニュースポーツ・海洋レクリエーションの体験会開催(回)	2	4	5	ビックルボール体験会 エンジョイスクエアSUP カヌー体験会・SUP体験会2	125.00%	順調	新規ニュースポーツの導入・海レク体験の実施・他地域との連携	向上	ビックルボール体験会の定期的な実施。海レク体験の複数回実施。
				B＆Gの利用者数(人)	教育委員会	B＆Gの利用者数(人)	3,752	3,800	4,407	B＆G海洋センター コンパス報告値	115.97%	順調	学校利用等の利用枠の拡大により、人口減少に対しての利用人数の確保向上が行えている。	向上	利用者数の増加については、イベントの実施・学校利用の拡大
				みんなで走ろう駅伝競走大会への参加者(人)	教育委員会	みんなで走ろう駅伝競走大会への参加者(人)	287	340	231	(R2)未実施 (R3)未実施 (R4)感染拡大防止のため、出場チーム数の制限や周回コースに変更して実施 (R7)ﾛｰﾄﾞﾚｰｽ34名、駅伝170名、監督27名	67.94%	概ね順調	ロードレース部門の継続や、周回コースのルートの浸透が図られ、この方式でのコースが定着しつつある。	向上	多くの参加者が見込めるよう、大会運営を検討してゆきたい。
		⑥子どもから高齢者の誰もが、いつでも安心して医療サービスを受けることができるまちづくりをします。	★医療職の人材確保 ★医療施設・医療機器の充実・維持 ★地域医療連携推進法人の設立と運用 ★地域包括ケアシステムの構築 ★社会福祉連携推進法人の設立にかかる調査・研究 ★オーラルフレイル対策 ★HHO充実による健康管理、在宅医療の推進 ★県立阿南病院の充実 ★飯伊地区の医療機関との連携推進	診療所常駐医師数(人)	民生課		2	2	2	・金 秀成医師 （富草・和合へき地診療所） ・原 政博医師 （新野へき地診療所）	100.00%	順調	医師数は確保できている。	現状維持	現在の医師に勤務継続してもらえるよう、取り組む。
				医療機関数(施設)	民生課		5	4	5	・阿南病院 ・JA富草歯科診療所 ・富草へき地診療所 ・和合へき地診療所 ・新野へき地診療所	125.00%	順調	システム構築・連携推進については随時進行中だが、医療機関数の維持はできている。	現状維持	新野へき地診療所の公営化やHHOライフセンターの新設も含め、施設運営に係る必要な補助や設備の充実、連携推進を進めていく。
		⑦住民が安心して住み続けられるための道路や水道などの生活基盤(ライフライン)や森林整備を推進して災害に強いまちづくりに努めます。	★CATV設備の維持、更新 ★映像記録のアーカイブ化 ★災害時における医療救護の体制づくり ★森林環境譲与税を活用した森林整備、経営管理箇所の選定と実施 ★防災・減災の観点から、計画的な森林整備及び景観整備の実施 ★有害鳥獣駆除の実施 ★見名の貯木場の有効活用 ★町有林を活用した森林整備 ★水道整備の老朽化対策 ★有収率の改善 ★適正な料金の検討 ★水道施設の見学の推進 ★危機管理マニュアルの作成 ★災害時への備え ★施設の維持管理(農集排) ★経営の改善(農集排) ★災害に備えた設備・制度など整備(農集排)★接続率・普及率の向上(農集排) ★国県道道路改良整備促進 ★インフラ施設点検による修繕箇所の把握 ★インフラ施設点検結果による修繕の実施 ★道路法面防災対策の実施 ★河川や山腹の危険箇所についての安全対策の促進 ★避難所の整備 ★防火水槽の更新 ★防災拠点(コミュニティの森)の整備 ★広域消防阿南署の更新(南部の拠点)	森林経営計画の認定箇所数	建設環境課		0	3	0		0.00%	順調	・令和7年度は新規および更新の認定箇所はなし。 ・現在、令和3年度から6年度までに認定した9箇所が5年計画として稼働しており、目標達成に向けて順調に推移している。	向上	引き続き森林事業体へ他の箇所の森林経営計画の作成を促す。
				森林環境譲与税を活用した森林整備及び景観整備実施箇所数	建設環境課		4	4	4		100.00%	概ね順調	計画的な事業発注を行えたため。	現状維持	ライフラインの維持を目的とした景観整備の取組みを進めていくと同時に計画的に各林班の事前調査、意向調査、詳細調査を進めていき、今年度以降に私有林の間伐等の施業を実施していく。
				里山整備利用地域数(団体)	建設環境課	1年＝1団体の登録	0	1	1	R7：川尻区	100.00%	概ね順調	1団体の利用地域があり目標値を達成している。	現状維持	・制度の周知を行う。 ・地域の実情に沿った施業を検討する。
				景観整備の実施件数(件)	建設環境課		22	22	21		95.45%	概ね順調	計画的な事業発注を行えた。	向上	予算の範囲内で優先順位をつけて目標が達成できるよう実施する。
				管路更新計画の作成	建設環境課		作成	作成	実施	R2 計画策定済	達成	順調	R2 計画に基づき耐震管への更新工事を実施	現状維持	R2 計画に基づき耐震管への更新工事を実施
				有収率(%)	建設環境課		62.7	70.0	64.7		92.43%	要改善	減圧槽や減圧弁等で区切りを作り漏水調査を実施したが、場所の特定には至らず、漏水箇所の修繕が行えなかった。	改善	引き続き漏水調査を行い、有収率の向上に努める。
				水道教室の開催数(回)	建設環境課		4	4	3		75.00%	概ね順調	・①大下条小学校、②富草小学校、③一般で実施した。 ・和合小学校と新野小学校は希望が無かったため実施していない。	向上	・引き続き小学校の見学の受け入れを行いたい。 ・一般向けも実施していきたい。
				農業集落排水接続率(%)	建設環境課		84.23	87.5	84.23	R2～接続費用補助を開始	96.26%	要改善	死亡・廃止等もあり普及率が横ばい。	改善	広報等による周知を実施
				合併浄化槽普及率（%）	建設環境課		78.95	88.72	82.65		93.16%	概ね順調	設置補助の実施もあり、普及率は改善した。	向上	広報等による周知を実施
				栗野門島線の整備の完了(残りkm)	建設環境課		0.9	0	0.05		5.56%	概ね順調	2工区Ｌ＝0.22ｋｍの内Ｌ＝0.05ｋｍを実施。	現状維持	早期改良に向け、引き続き県へ要望していく。
				通学路点検及び区要望の危険箇所対策(箇所数)	建設環境課	交通安全施設現況調査にかかる路線の要望及び改修箇所数	2	5	0	R7：新たな要望箇所なし	0.00%	概ね順調	・現時点で対策が必要な箇所はない。 ・都度、要望に対応しているが、教育委員会と連携して効率的に要望を集約する方法を模索する。	現状維持	効率的に要望を集約する。

第６次阿南町総合計画（後期分：Ｒ7～Ｒ11）　評価表

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
				修繕が必要な河川の改修(箇所数)	建設環境課	準用河川の要望及び改修箇所数	1	5	3	堆積土の回収　2箇所 護岸改修工事　1箇所	60.00%	順調	区要望及び独自の巡回により、優先度の高い箇所から実施できた。	現状維持	引き続き、要望等に対応していく。
				防火水槽の更新(箇所)	総務課		3	7	0	更新計画 R8：3ヶ所（大下条） R9：4ヶ所（新野）	0.00%	概ね順調	県営中山間総合整備計画に基づき実施していく。	現状維持	県営中山間総合整備計画に基づき実施していく。
④魅力的な地域をつくる	1地域が元気で時代にあった安全・安心なくらし			防災啓発イベントの参加者数(人)	総務課		200	300	76		25.33%	概ね順調	総合防災訓練の折、区長や消防番員を対象とした、野県防災士会による避難所設営訓練を実施。	現状維持	住民参加型の防災啓発イベントを通年を通して行えるよう検討していく。
				土砂災害特別警戒区域ではない指定避難所の収容人数(人)	総務課		312	720	312		43.33%	順調	コミュニティの森整備計画により敷地造成工事を実施したことにより、町民体育館（収用人数408名）に係る土砂災害特別警戒区域は解除される見込み。	現状維持	引き続き、避難所の機能強化に努めたい。
				社会教育施設(自然の家、グランド、体育館、B&G）の利用者数	教育委員会	社会教育施設(自然の家、グランド、体育館、B&G）の利用者数	20,000	30,000	26,897	R7：社会体育施設14,308人 自然の家12,589人	89.66%	概ね順調	より施設を利用しやすいよう、グランド整備や修繕を行っている。	向上	定期的な整備、修繕を継続し、施設の維持に努める。
		⑧自助・共助の意識向上を目指すとともに、時代に即した消防団の体制を構築します。	★まちづくりやボランティア団体の意見交換会の開催 ★まちづくりやボランティア活動のPR ★地域福祉の促進 ★災害時に地域で支え合う体制づくり ★地元施工による生産生活基盤整備 ★地区の協力による道路・河川の維持管理活動の促進 ★各コミュニティへの防災支援 ★家屋の耐震化の推進 ★BCP(業務継続計画)及び受援計画の策定 ★充実した広報啓発活動の実施 ★消防団のあり方の見直し ★広報などでの周知(防犯)	ボランティア大会の開催数(回)	民生課		0	1	0	R2.6 阿南町ボランティアセンター設立	0.00%	要改善	コロナ以降、開催しておらず、ボランティア自体が減少している。	改善	R7に社会福祉協議会と合同で行った地域へのアンケート調査を参考にし、社会福祉協議会と有償ボランティアや交流の場づくりを協議し進めていく。
				見守り協力機関数(機関)	民生課		3	3	3	①　H29.5～阿南ショッピングセンター協同組合 ②　H29.11～生活協同組合コープながの ③　R6.3.13～第一生命保険株式会社	100.00%	順調	・新規の協定はないが、関係機関と定期的な連携を図れている。 ・近隣住民による自主的な見守りが行われている。	現状維持	現状を維持しつつ、新たな見守りの資源も模索する。
				地元施工実施箇所数の維持(件)	振興課・建設環境課	【振興課】 原材料支給実績件数	7	7	9	【振興課】6件 農道作業道　2件 水利水路　　4件 【建設環境課】3件 道路　1件 林道　1件 環境整備　1件	128.57%	順調	【振興課】 地域の集まりでの活動は、人口減少と高齢化により減少傾向。 地域主体で修繕できず、町工事実施、負担金支払での対応を望まれるケースがあることも要因。 【建設環境課】 要望に応じて対応できている。	現状維持	【振興課】 修繕・改良要望を受ける際に、地域で施工可能と思われる比較的簡易なものは、原材料支給によって対応していただくことをお願いしていく。 【建設環境課】 引き続き、要望等に対応していく。
				BCP（業務継続計画）及び受援計画策定・検証・評価・改定	総務課		策定	検証・評価・改定	実施	R2.3策定済	達成	概ね順調	計画策定は行えているものの、改定作業の必要性の検証や評価が行えていない。	現状維持	有事の際に活用できる計画となるよう、必要に応じて改定作業等を進めていきたい。
				消防団員数(嘱託含む)(人)	総務課		133	150	136	条例定数：150名 R7:正規団員70名 嘱託団員66名	90.67%	要改善	若者の新入団員候補が少なからずいるが、加入が進まない。	現状維持	引き続き消防団活動のＰＲを行うと共に、粘り強く新入団員の加入促進を行っていきたい。
④魅力的な地域をつくる	①地域に仕事をつくる②人のつながれ	2老いも若きも誰もが主役で活躍す	①高齢者を支える介護職員の人材育成に取組み、人材確保を行います。	★人材確保のための福祉施設との連携 ★介護職等の人材確保 ★若い世代(小中高生)に対する福祉・介護の仕事の魅力の理解促進	中学生以下の子どもとの交流受け入れ施設(施設数)	民生課	①特別養護老人ホーム阿南荘 ②特別養護老人ホーム太陽の家 ③特別養護老人ホーム赤石寮 ④阿南町社会福祉協議会	4	4	3		75.00%	概ね順調	・コロナ禍以降、実施していない施設もある。 ・学校の年間計画に地域交流として計画されている。 ・中学生を受け入れ福祉体験学習等を実施している。	現状維持	若い世代への福祉事業の普及と人材確保のため継続。
			②地域の住民同士がつながりを大切にし、お互いに支え合う関係やその仕組みづくりを目指します。	★認知症に関する知識の普及啓発 ★安心して暮らせる高齢者の見守り体制づくり	認知症サポーター数(人)H26～累計	民生課	H26～累計	698	1,000	748		74.80%	要改善	サポーター数は増加しているが、講座を受ける対象が阿南高校の生徒、阿南病院職員と固定化している。	現状維持	認知症理解と普及のため、継続して実施。

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
をつくる	するまち	③住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心していきいきと暮らせるまちを目指します。	★高齢者の働く場の確保 ★サロン、集いの場の開催支援 ★シニアクラブの活動支援	シニアクラブ加入割合（%）	民生課	75歳以上	66.1	66.0	65.2	R7：754人/1,156人	98.79%	概ね順調	・加入者がわずかに減少。 ・新規掘り起しが難しい。 ・活動が難しいクラブも出てきている。	現状維持	・案内チラシの作成 ・活動メニューの開発 ・福祉祭りの開催
				シニアクラブ数（団体）	民生課		16	16	16		100.00%	概ね順調	全てのクラブが継続して活動ができた。	現状維持	シニアクラブへの補助を継続。
①地域に仕事をつくる、②人のつながれをつくる、④魅力的な地域をつくる	2 老いも若きも誰もが主役で活躍するまち	④障がいの有無にかかわらず誰もがお互いを尊重して支え合い暮らしやすいまちを目指します。	★相談窓口の強化と障がい福祉サービスの充実 ★福祉医療制度の継続 ★障がい児者の健康維持 ★日中活動の場の確保 ★障がい児と住民の交流支援 ★バリアフリー化の推進	日中活動の場(箇所)	民生課		1	1	完成	R7：多機能事業所なないろ	達成	順調	令和７年度に施設整備し、令和７年12月から多機能型事業所なないろで日中活動の場を提供している。	現状維持	サービスの提供を継続する。
				小中学校との交流施設数	民生課		2	2	2	①救護施設阿南富草寮 ②ひだまりの郷あなん阿南学園	100.00%	順調	・学校の年間計画に地域交流として計画されている。 ・施設へ訪問し、交流会を実施。 ・職場体験を受け入れた。	現状維持	若い世代への福祉事業の普及と人材確保のため継続。
		⑤健康づくりの環境を整備して、住民自らが生涯にわたって健康づくりに取組み、ひとりひとりが健康を大切にするまちをつくります。	★自らの老後について、健康・介護・終末期に関する意思決定を行うための知識の普及・啓発 ★介護の相談窓口の体制強化 ★健康教育の推進 ★ふっとふっと事業の推進 ★健診、がん検診の受診率向上 ★重症化予防への取組 ★健診事業のわかりやすい周知	朝食を毎日食べる小学生の割合(%)	教育委員会	小学校学力・学習状況調査の質問紙調査	96.9	100	100	小学校学力・学習状況調査	100.00%	順調	・目標値を達成している。 ・保護者への周知により啓発している。	現状維持	引き続き、保護者への周知により啓発を行う。
				睡眠時間が８時間以上の小中学生の割合(%)	教育委員会	全国体力・運動能力、有働習慣等調査	53	75	60	全国体力・運動能力、有働習慣等調査	80.00%	要改善	・目標値は達成していない。 ・保護者への周知により啓発しているが、ゲームやSNSなどで就寝時間が遅くなっていることが原因と推測される。	現状維持	引き続き、保護者への周知により啓発を行う。
				健康教室の開催数(回)	民生課	地域保健・健康増進事業報告	16	16	16	①シニアクラブ健康講座 ②楽しい健康のつどい	100.00%	順調	委員による積極的な開催（複数区での共同開催など）	現状維持	シニアクラブや健康推進委員会で開催を勧奨する。
				ふっとふっと教室参加者数の増加（人）	民生課		78	100	109	R7：陸上82人、27人	109.00%	順調	特に水中教室における新規加入者の増加 健康推進委員への体験会実施	現状維持	継続利用者の高齢化が課題であるため、イベント開催などのPR事業と、効果検証を周知することによる新規加入者の募集を継続する。
				人間ドック受診者数（人）	民生課	人間ドック補助金実績	121	150	166		110.67%	順調	国保・後期高齢者人間ドック受診者増加	現状維持	検診調査や広報等で引き続き周知する。
				特定健診受診率(%)	民生課	特定健診・保健指導法定報告	61.1	62	62.8	R7：暫定値	101.29%	順調	職場健診結果の提出者増加	現状維持	検診調査結果に基づいた受診勧奨を継続する。
				特定保健指導実施率(%)	民生課	特定健診・保健指導法定報告	65.9	75.0	79.5	R7：R6年度実績	106.00%	順調	特定保健指導未修了者の再確認と実績評価の実施	現状維持	保健指導計画の見直し （実績評価を3か月～半年で確実に実施できる計画とする）
		⑥町内の耕作放棄地の増加を防ぎ、農業生産を維持していくために、新規就農者を含めた農業の担い手の確保を推進します。	★定年退職者への営農斡旋 ★新規就農相談のワンストップ化 ★生活体験の機会の増加 ★水田農業就農者への支援 ★その他就農者への支援 ★農業生産基盤整備の必要な箇所の把握と整備	年金プラス100万円達成者数(人)	振興課	米及び野菜収益の達成者数	7	10	10		100.00%	順調	米価、野菜価格高騰により増加。	現状維持	価格の変動があるが、出荷量を増やすことにより増収を目指す。
				新規就農者数(人)	振興課	農業委員会最適化活動の目標設定・点検評価 新規就農者数	3	3	1	（R7）新規就農１者（法人）	33.33%	順調	新野地区で基盤整備とりんごの新植を行い、町内法人１社が新規参入。	現状維持	令和７年度新規参入法人においては、令和８年度に国庫補助を活用して農業機械整備とほ場の基盤整備、りんごの新植を予定している。継続して関係機関と連携し支援を行う。 令和８年度から信州あなんトータルマーケティングで１名の新規就農者研修事業を開始した。２年間の研修の後独立就農する予定。
				水田経営持続化支援金交付者数(人)	振興課	交付者数(人)	209	200	240	生産者１人あたり 10,000円加算金： 町内米販売業者に出荷した玄米１俵あたり 10,000円	120.00%	概ね順調	物価高騰による水田農業経営者への助成を行うことができた。 加算金については、今後の米の生産状況や販売価格により適正な額を判断していきたい。	現状維持	物価水準や米の生産状況、販売価格等を早めに把握し、適正な補助を行い、水洗農業経営の持続を図りたい。
				農地流動化促進事業奨励金交付面積(借地耕作面積)(反歩)	振興課	農地流動化奨励金支払実績面積	765	925	852	(R4)731反歩 (R5)765反歩 (R6)806反歩	92.11%	順調	法人への集積増加による。 合同会社阿南食品（0→20）+20 興亜エレクトロニクス（69→108）+39	向上	法人への農地集積が進んでいる。担い手不足や遊休農地増加を防止するため、農地マッチングの仕組みを創設し、流動化促進を図る。 現状維持の目標は達成されているが、継続して農地集積と流動化を進める必要があるため、KPIを「765」→「925」に上方修正する。 （毎年15反歩増ペース）

R8 KPI上方修正 765→925

第６次阿南町総合計画（後期分：Ｒ7～Ｒ11）　評価表

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
		⑦山林を保全していくための林業や林産物を生産する担い手の確保を推進します。	★森林組合や林業従事者との連携 ★関係団体の支援活動 ★特用林産生産者の増加	林業従事者数(人)	建設環境課	各事業所聞取	33	35	34		97.14%	概ね順調	林業従事者の事業継続のために、町の森林整備事業（支障木伐採等）の積極的な発注に心掛けた。	向上	担い手確保のための取り組みの検討を継続する。
		⑧地域経済の衰退を防ぐため、商工会との連携により町内の既存企業や商店への支援や、基盤となる働き手や担い手の確保、創業や継業支援の充実につなげます。	★地元の就労者の確保 ★既存企業向け新規就労者の増加と担い手の確保 ★商工会や工業振興会との連携 ★企業や商店への支援	阿南高校生の職場体験への参加者数(人)	総務課		36	10	0	R7：体験授業なし	0.00%	要改善	職場体験事業がなかった。	現状維持	役場への就職に結びつく例もあるので、いつでも受入ができるよう準備をしておく。
				町商工会参加企業数(団体)	振興課	町商工会加入企業数	125	120	147	←特別会員含む 新規：2 脱退：7	122.50%	概ね順調	経営者の高齢化及び後継者不足により企業（事業者）数が減少している。	現状維持	県・商工会連合会・町による承継実態調査を行うなかで、承継に関心のある事業者に対して各サービスや窓口へ繋ぎたい。
②人のつながりをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる	3若者を地域で育てるまちづくり	①若者が地域に住み続けてもらう、戻ってきてもらう、外からきてもらう取組みを行います。	★住宅建設への支援 ★町営住宅の管理・運営 ★結婚活動への支援 ★地域へ戻ってきてもらう取組み ★各種分野との連携(地域に住み続けてもらう) ★山村留学に取組む地域の団体との連携・支援	住宅新築事業補助金の活用件数(件)	建設環境課		2	5	3	うち1件は町分譲地の購入者	60.00%	概ね順調	建築資材等の高騰により住宅新築へのハードルが上がっている厳しい環境下において、３件の実績を確保することができた。	向上	物価高騰により新築数の減少も懸念されるが、住民への更なる周知に加えて、町外の住宅建設事業者に対する周知も検討していく。
				町営住宅の入居率(%)	建設環境課		96.0	97.0	96		98.97%	概ね順調	建物の老朽化等の課題はあるものの、目標に対して高い入居率を維持できている。	現状維持	・和合地区については、住宅の設備修繕等で入居率の向上を見込むことは難しいため、移住者などへ住宅入居を呼び掛けていく。 ・適切な維持管理と入居促進に努め、現状の水準を維持していく。
				結婚活動イベントの開催(回)	総務課		1	1	1	R7：実施 （男性10名、女性7名）	100.00%	概ね順調	南部５町村の合同事業として、婚活イベントを実施したが、阿南町の参加者はいなかった。	現状維持	近隣町村と連携した婚活イベントを複数年実施したが、阿南町からの参加者が全くない時もあり事業効果が望めないため、しばらくは実施を見送る。
				補助金交付件数(就労祝い金、かえっておいないよ交付人数)	振興課	交付件数	4	5	6	就労祝い金：3件 かえっておいなよ：3件	120.00%	概ね順調	町出身者が町内で生活を送りながら、町内及び町周辺町村の企業へお勤めする基盤づくりになっている。	現状維持	制度の周知を図り、長く町に生活基盤を置きながら働く一助としたい。
		②子育てを地域社会全体で支援する環境を整備し、すべての子どもが健やかに成長できる、子育てしやすいまちづくりを目指します。	★保育サービスの充実 ★子育て支援制度の充実 ★学童クラブの充実 ★要保護児童などへの支援体制の充実 ★子育てに関する相談事業 ★中学校の教育環境の検討・整備(中学校統合についての答申) ★時代に対応した教育の推進 ★健やかな心身を育む教育の推進 ★障がい児支援体制の充実★学校教育の整備 ★ICT(情報通信技術)環境の整備 ★通学路の安全を確保するための連携・支援 ★乳幼児医療費事業	子ども・子育て支援事業計画策定に係る事前調査の回答項目保護者が「子育てについて不安を感じている」割合	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	89.6	71.7	79.1		110.35%	概ね順調	目標値は達成していないが、全体的に不安を感じている家庭は減少している。	向上	少子化により、各クラスの人数は減少しているが子ども一人一人を見守る時間が増えたことにより、一人一人の子どもと向き合う時間が増えていることが影響しているのではないかと推測される。
				①子育てや教育にかかる経済的負担が大きい	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	37.3	29.8	39.6		132.71%	要改善	物価高騰により経済的負担を感じている家庭が増えている。	改善	役場としては、経済的負担を軽減するため、商品券を配布するなどの対策を講じている。
				②仕事と子育ての両立が難しい	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	41.8	33.4	35.4		105.86%	概ね順調	目標値は達成していないが、仕事と子育ての両立が難しく感じている家庭は減少している。	向上	子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対しては相談を受ける環境整備を進める。
				③子どもの育て方、接し方が分からない	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	13.4	10.7	6.3		58.77%	順調	子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対して気軽に相談できる環境整備ができている。	向上	子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対して相談を受ける環境整備を進める。
				④家族の理解や協力が得られない	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	9.0	7.2	2.1		29.17%	順調	祖父母参観日を開催するなどご家族の方にお子様の保育園での生活を参観していただき、ご家族の理解をいただいている。	向上	引き続き、祖父母参観日を開催するなどご家族の方にお子様の保育園での生活を参観していただいている機会を作る。
				⑤子どもの健康や発達に不安がある	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	28.4	22.7	8.3		36.53%	順調	子どもの特性をいち早く捉え、その特性に見合った相談窓口を効率よく案内できている。	向上	子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対して相談を受ける環境整備を進める。
				⑥子どもの教育について不安がある	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	26.9	21.5	22.9		106.41%	概ね順調	目標値には達していないが子どもの教育について不安を感じている家庭は減少している。	向上	保育園では、生活の中で自分の名前を読めるようにするなどの指導を行う。
				⑦教育・保育事業が利用しにくい	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	4.5	3.6	0		0.00%	順調	育休退園を廃止するなど、時代に見合った形で子育て環境を柔軟に見直している。	向上	子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対して相談を受ける環境整備を進める。
				⑧不安や悩み相談する相手や場所が周囲にない	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	6.0	4.8	0		0.00%	順調	インターネット環境が整備されてきたことで、友だち同士で悩みを共有したり、ＡＩの普及により気軽に相談できる環境が整ってきている。	向上	子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対して相談を受ける環境整備を進める。
				⑨小さな子どもにとって安全な遊び場所が身近にない	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	43.3	34.6	39.6		114.32%	概ね順調	目標値は達成していないが、小さな子どもにとって安全な遊び場所が身近にないと感じている家庭は減少している。	向上	保育園の遊具を安全に使用できるよう毎年点検業務を委託している。
				⑩自分のための時間や、リフレッシュの時間がとれない	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	40.3	32.2	20.8		64.52%	順調	自分のための時間やリフレッシュの時間取得に対して広く理解が進んでおり、事業所の理解も進んでいる。	向上	仕事などで休みを取れないご家庭に対して一時保育（一時預かり）事業を実施している。
				⑪子どもの友だち付き合いが心配である	教育委員会	子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート	26.9	21.5	12.5		58.09%	順調	子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対して相談を受ける環境整備を進めている。	向上	引き続き、子育て支援室を開設しており、子育てに不安を感じているご家庭に対して相談を受ける環境整備を進める。
				ノーテレビ・ノーゲームデーの回数	教育委員会		12	12	12	保育園事業実績	100.00%	順調	参観日などを利用してメディアとの付き合い方について講師を招き、保護者を対象とした講演会を実施している。	現状維持	引き続き、参観日などを利用してメディアとの付き合い方について講師を招き、保護者を対象とした講演会を実施する。

第６次阿南町総合計画（後期分：Ｒ7～Ｒ11）　評価表

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
				中学校の教育環境のあり方の検討・整備	教育委員会		実施	実施	実施	中学校統合準備委員会実績	達成	順調	・それぞれの地区を理解するための縦割り総合の時間を設けるなど、中学校では地元を知るきっかけとなる取り組みを積極的に行っている。 ・統合準備委員会では、合意形成を図りながら、校章・制服・スクールバスの運行経路などを決めてきた。 ・委員会で決まった内容は、統合だよりを配信するなど、住民の皆様に情報提供を行っている。	現状維持	年に６回（隔月）中学校統合準備委員会を開催し、令和９年４月の統合を目指して取り組む。
				ICTを活用した小中学校の他校との交流回数(回)	教育委員会		18	6	20		333.33%	順調	児童生徒数減少に伴い、学校間で合同で取り組む行事が増えてきており、学校間の交流も増えている。	現状維持	Google機能は共同編集が可能なため、引き続き共同学習の推進を図る。
				乳幼児医療費事業の維持	民生課		維持	維持	実施		達成	順調	制度を維持することができた。	現状維持	引き続き、制度を継続していく。
②人のながれをつくる、③結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④魅力的な地域をつくる	3 若者を地域で育てるまちづくり	③基礎体力の定着と学ぶ意欲の向上、阿南の自然と地域の歴史や産業・文化を活かした体験活動を通した『考動力』の育成を図り、心豊かな児童生徒の育成を目指します。	★生きる力を育む教育の推進 ★外国語教育の充実 ★地域を知る教育の推進 ★田原市との交流事業 ★地域性を活かした授業・活動	小学校学力・学習状況調査結果(国の平均正答率以上の項目率)（%）	教育委員会		10.53	15.00	13.3	小学校学力・学習状況調査 R7：30項目中4項目	88.67%	要改善	目標値は達成していないが、全国学力状況調査が全学年対象ではないため、小規模校は年度によって調査結果に差が出てしまうため、更なる調査が必要である。	現状維持	NRT学力調査を全児童対象に実施し、全国平均と比較していく。
				中学校学力・学習状況調査結果(国の平均正答率以上の項目率)(%)	教育委員会		46.43	46.00	38.2	中学校学力・学習状況調査 R7：34項目中13項目	83.04%	要改善	目標値は達成していないが、全国学力状況調査が全学年対象ではないため、小規模校は年度によって調査結果に差が出てしまうため、更なる調査が必要である。	現状維持	全生徒を学力調査を実施し、全国平均と比較していく。
				英語教育のためのALT数(人)	教育委員会		2	2	2		100.00%	順調	必要となるALT数は確保できている。	現状維持	派遣元の業者が5年目を迎えている。今後の様子を見ながら、業者の見直しも検討し、良い人材の確保に努めたい。
		④人権教育や地域が主体となった青少年健全育成を推進します。	★児童虐待の防止 ★青少年健全育成事業 ★学校・家庭・地域の連携の推進 ★青少年健全育成活動の推進 ★青少年健全育成組織の充実	小学校体力・運動能力、運動習慣等調査結果(国の平均以上の種目率)(%)	教育委員会		0	50	56.9	全国体力・運動能力、有働習慣等調査 R7：72項目中41項目	113.80%	順調	・目標値を達成している。 ・学校教育活動以外の運動する機会づくりを確保できた。	現状維持	町駅伝大会、コーディネーショントレーニング等で町内児童生徒の体力向上を推進していく。
				中学校体力・運動能力、運動習慣等調査結果(国の平均以上の種目率)(%)	教育委員会		45.83	46	-	R7：中学校調査該当校なし	#VALUE!	概ね順調	・国による調査が行われなかったことにより、実績値は把握していない。 ・体力・運動能力、運動習慣等調査は国指定の調査となるため、町として独自に調査をする必要がある。	現状維持	町駅伝大会、コオーディネーショントレーニング等で町内児童生徒の体力向上を推進していく。
		⑤阿南高校が多くの人に進学してもらえる高校となるために、魅力あるコースづくりを中心に、地域も連携するなかで他校との差別化を図っていきます。	★阿南高校協力会としての連携★通学支援★就職支援★阿南高校の魅力の情報発信	土曜日の通学バス通行	総務課		実施	実施	未実施	R7：対象生徒なし	未達成	順調	当時、売木・新野地域より土曜日の部活の際の通学手段を確保してほしいとの話があり設定したが、対象生徒からの要望なし	現状維持	需要が発生した場合は、タクシー等依頼し対応する予定。
		⑥幼少期から健康に関する興味を持てる環境をつくります。	★食育の推進 ★こころと身体の成長発達を促す健康教育の充実 ★小中学校への健康知識の提供	評価指標なし	教育委員会								・地産地消により、安全な食材を確保している。 ・発育測定後の保健指導や学校保健委員会による講演会実施により、健康教育が実施された。		・食材の調達は地元業者に依頼しており、給食で提供できるようできる限り地元食材を扱っていただくよう話をしている。 ・講演会、保健指導の実施
②人のながれをつくる、④魅力的な地域	4 日本中に発信！阿南町プランド～人	①町外からのUIJターン者を積極的に迎えられるように、地域が移住者を受け入れられる環境	★各地区に移住者と地域をつなぐ団体の設置 ★お試し住宅の建設の検討 ★空き家対策協議会と連携し、空き家対策計画等を推進 ★空き家銀行制度の活用 ★空き家の利活用の推進 ★観光施策と移住支援施策との連携 ★観光と移住のワンストップ化と連携 ★宿泊施設の確保 ★既存建物を活用した創業の場の確保	移住希望者と地域をつなぐ団体数	総務課		2	2	2		100.00%	概ね順調	地域団体の活動が継続されており、特段、町への要望事項などはない。	現状維持	今後も団体からの申し出があれば、相談に応じていきたい。
				空き家を活用したお試し住宅の制度新設	総務課		-	策定	未実施		未達成	要改善		改善	引き続き、制度設計を検討していく。
				空き家利用促進事業補助金の活用件数	総務課		8	10	11	R7：活用2件、解体9件	110.00%	順調	不要となった空き家の解体が促進された。	向上	空き家所有者のニーズに沿った補助制度となるよう検討を行う。
				空き家等活用起業件数	総務課・振興課		0	1	0		0.00%	要改善	起業実績はなかった。	改善	
		②町外への情報発信としてインターネットなどを活用した幅広い手段でまちのPRを図り、まちを知ってもらう取組みを行います。	★移住ｾﾐﾅｰの開催 ★町内外への情報発信 ★地域を助けてくれる関係人口の創出の取組 ★ホームページ利用率の向上 ★動画サイトによる情報発信	移住ｾﾐﾅｰへの参画(箇所)	総務課		2	2	1		50.00%	要改善	JA主催の東京フェアへ参加を行ったが、移住実績はなかった。	現状維持	引き続き、市町村の広域連携による移住イベントなど参加を継続していく。
				人口の社会動態増減数	総務課		1	0	49	R7：49人増	達成	順調	自然増減は94名減少（出生18人、死亡112人）したが、社会増減は増加した。	現状維持	引き続き、増加を維持する。

第６次阿南町総合計画（後期分：Ｒ7～Ｒ11）　評価表

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
をつくる	の流れをつくる～		★その他幅広い手段での情報発信 ★各種分野との連携(阿南町を知ってもらう) ★体験・見学ツアーの実施 ★農村文化伝承センターの有効利用 ★文化財の情報・研究成果の情報発信 ★観光案内所・観光施設の連携 ★観光PRの強化 ★移住も含めた居住地の魅力発信	ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの町内在住者の閲覧者数(人)	総務課	googleのアナリテクス上で4/1～3/31で検索	2,271	3,000	2,696		89.87%	概ね順調	町内向けの情報(通行止めやイベント周知)が十分に認知されていない理由として、更新頻度が少ない記事が一部あり、町民からの情報周知ツールとしてに印象が弱いのが原因	向上	町民のみなさまが手軽に確認できる情報ツールとして認識してもらうために、不要な情報の削除と、更新頻度を増やし、最新情報の掲載に努め閲覧者数を増やしていく
				ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの町外在住者の閲覧者数(人)	総務課	googleのアナリテクス上で4/1～3/31で検索	119,697	130,000	90,966		69.97%	要改善	観光情報や補助金・申請書類の確認に利用されるのが主であるが、時期に合わせた情報発信の頻度が十分ではない。	改善	現在、どの分野が注目されているか把握するため、分析AIを利用し、閲覧者が求める情報を把握する。分析結果を基にHPの注目される分野を中心に更新頻度を高める。
				YouTubeのﾁｬﾝﾈﾙ登録者数(件)	総務課	Youtubeの登録者数で確認	302	500	392		78.40%	要改善	主に議会放送をしているが、再生回数、登録者数ともに少なく、動画分野が限定的なため視聴者が増えないのが原因。	改善	SNSやホームページと合わせて多くの方に情報提供でき、閲覧者の増加と登録者数の増加につなげるため、祭りの時期はイベント紹介とアクセス動画を上げることや、町の風景動画を投稿し、さまざまな分野の動画を投稿する。
				Twitterのﾌｫﾛﾜｰ数(件)	振興課	ﾌｫﾛﾜｰ数	1,386	2,000	1,426	記事掲載回数：47回	71.30%	概ね順調	町ＨＰ観光情報コーナーの更新に合わせ、記事の掲載を行った。	向上	更新回数を増やしながら、引き続き旬な情報を公開したい。
②人のながれをつくる、④魅力的な地域をつくる	4日本中に発信！阿南町ブランド～人の流れをつくる～	②町外への情報発信としてインターネットなどを活用した幅広い手段でまちのPRを図り、まちを知ってもらう取組みを行います。	★移住ｾﾐﾅｰの開催 ★町内外への情報発信 ★地域を助けてくれる関係人口の創出の取組 ★ホームページ利用率の向上 ★動画サイトによる情報発信 ★その他幅広い手段での情報発信 ★各種分野との連携(阿南町を知ってもらう) ★体験・見学ツアーの実施 ★農村文化伝承センターの有効利用 ★文化財の情報・研究成果の情報発信 ★観光案内所・観光施設の連携 ★観光PRの強化 ★移住も含めた居住地の魅力発信	町HPへのｲﾍﾞﾝﾄ情報の掲載（件） かじかの湯・道の駅ｲﾍﾞﾝﾄ情報の掲載	振興課	HP情報更新回数	0	48	47	HP情報更新回数 花・イベント：31回 民俗芸能・お祭り：16回	97.92%	概ね順調	町ＨＰ観光情報コーナーにより花・イベント・祭りの事前案内や開花情報等を都度更新を行うことができ、電話対応等が少なくなった。	向上	更新回数を増やしながら、引き続き旬な情報を公開したい。
				文化財・化石など地域資源へ触れる機会の創出(人)	教育委員会		75	100	38	R7 化石発掘体験10人 帰ってきた化石講演会18人 信大出前講座10名	38.00%	要改善	化石関係で２講座、考古学で１講座の開催した。	改善	実施時期や、周知PR活動を工夫して実施したい。
				講演会の年間開催および出張公演の回数の維持(回)	教育委員会		4	4	6	R7 ①化石発掘体験 ②帰ってきた化石講演会 ③県立歴史館出前講座 ④音楽する社会3回	150.00%	順調	地域資源を活用した講座の開催と地元講師の講演会を実施することができた。	現状維持	今後も、地域の再発見につながる講演会を継続して開催していく。
				文化財・民族芸能の映像化およびSNSでの発信(ｺﾝﾃﾝﾂ数)	教育委員会	SNS発信数	2	10	12	R7 YouTube　1 インスタグラム　4 X　7	120.00%	順調	町SNSの利用者の増加・情報発信内容の多様化によりSNSでの発信が行えた。	向上	動画作成であれば。資料的動画・観光的動画などの文化継承での意味合いのある動画の作成。また、SNS発信であれば情報のスピード性を生かし第３者への情報提供を行う。
				観光統計入込客数(かじかの湯・道の駅・二瀬ｷｬﾝﾌﾟ 場)(人)	振興課	観光統計入込客数	234,334	265,800	274,583	阿南温泉：79,077人 道の駅：187,406人 二瀬キャンプ場：8,100人	103.30%	概ね順調	かじかの湯及び道の駅は入込客数が増加 道の駅は冬期の来客数の減少が課題 キャンプ場は減少	現状維持	今後もHPや外部広告を利用しながら各々の施設の紹介を図りたい。
				化石館の利用者数(人)	教育委員会	年間利用者統計	400	800	319	R7 化石館319人 展示館1,136 合計1,455人	39.88%	要改善	化石展示館は利用人数が多いものの、化石館の利用人数は停滞している。	改善	PR活動、より分かりやすい案内を行い、周辺施設からの利用者増に努めたい。
				阿南温泉かじかの湯の来場者数(人)	振興課	かじかの湯の入湯者数	53,200	55,200	79,077	前年との差：11,235人	143.26%	概ね順調	かじかの湯公式ＨＰの充実や季節のイベントにより入湯客の増加が図られた。 設備の故障による長期休業もなく安定した利用が図られた。	現状維持	安定した営業ができるよう設備の維持管理を図りたい。 料金の値上げが利用客の減少につながらないよう。かじかの湯と情報を図り注意をしていきたい。
		③2034年以降のリニア開通に向けて、南信州地域に来てもらえるような地域ブランド力の強化に努めます。	★各種分野との連携(リニア開通) ★リニア開通に向けた広域な範囲での取組み ★県道飯田富山佐久間線の道路改良の促進 ★信州大学共同研究講座の設置	リニア開通に向けた広域ビジョンの策定			実施	実施	実施	R5.5月 南信州リニア未来ビジョン（議論のための）が公表	達成	順調	南信州広域連合が中心となり未来ビジョンの具体化に向け検討が進められている。	現状維持	今後も、南信州広域連合が中心となり、広域連携を進めていく。
		④文化財についての理解を深め、伝承されている伝統芸能の世代継承を目指します。	★保存団体などの活動支援★文化財の保護・保存	評価指標なし	教育委員会								保存団体への補助金交付を継続して行っている。		人口減少により、保存会員の減少や各家庭からの寄付金額が減少している。後進の育成につながるよう、活動を支援していく。
		⑤地域の魅力を再発見し、既存の施設や環境の有効活用を基礎に、観光と農林業、商工業の各分野をつなぐことによって地域内消費の向上と外貨獲得を目指します。	★阿南ブランドの掘り起こし ★(株)南信州観光公社との連携 ★クラインガルテン新野高原との連携	農家民泊・農業体験受入件数（人）	振興課	農家民泊受入人数	74	35	367	農家民泊：５戸 春：261人　夏：90人 秋冬：16人	1048.57%	順調	受入戸数は現状維持にあるものの、各戸での受け入者数は増加している。	現状維持	高齢化等により各戸での受け入者数が限界に達しているため、新たな受入農家の参入を図りたい。
				クラインガルテン利用件数(棟)	振興課	年度末ラウベ入居戸数	20	20	18	年度当初：20戸 年度途中退去：2戸	90.00%	概ね順調	ガルテナーの高齢化や体調不良により退去があった。	向上	町ＨＰや外部広告により有効なＰＲを行い、８年度中の20戸全戸の入居を図りたい。
		⑥地産地消の促進、観光など他分野との連携の強化によって農業の魅力化を図ります。	★法人の農業参入への取組み ★生産体制の組織化 ★他分野との連携(飲食専門マップ)	農業法人化数(法人)	振興課	新たに設立し、農業参入した法人 該当年度は農業参入した日の属する年度	1	3	0	令和7年度は法人の新規参入（合同会社阿南食品）はあったが、新規設立ではないためカウントしない。	0.00%	概ね順調	令和７年度中の新規法人設立は無かったが、法人の新規参入１件と令和８年度新規設立への取組は進んだため、基本方針に沿った取組は進んでいると言える。よって概ね順調と判断。 法人化が進まない要因として、法人化への検討に時間を要すこと、収入状況によって必ずしも法人化が有利に働くわけではないこと、個人→法人へ移行することにより社会保険、法人税申告等事務業務が増加することが考えられる。	現状維持	令和８年４月１日に設立の新規参入法人有。施設整備を実施し市田柿を生産していく予定。設備投資に対する支援と、農地確保の支援を実施する。 新たに法人化を希望する者は、長野県の農業経営法人化支援事業を活用のうえ、関係機関で連携し法人化支援を行う。

第６次阿南町総合計画（後期分：Ｒ7～Ｒ11）　評価表

Ｐｌａｎ（計画・目標）									Ｄｏ（実行・実績）		Ｃｈｅｃｋ（評価・分析）			Ａｃｔ（改善・維持・向上）	
国の方向	基本目標	基本方針	基本計画（施策の展開）	ＫＰＩ（評価指標）	担当課	数値根拠	基準値(R5)	目標値(R11)	実績値 7年度	備考・特記事項（対象年度）	令和7年度達成状況 達成率	評価	原因・要因	令和8年度取組方針 方針	具体的取組
		⑦環境保護や温暖化対策、新エネルギーの利活用を進め、住む人も来た人も気持ちのよいまちを目指します。	★分別の周知 ★移住者や外国の方への情報提供 ★教育機関との連携 ★不法投棄への対策 ★資源の有効活用 ★環境整備か所の確認及び選定 ★住民の自主的な環境整備活動への支援 ★特定空き家などの対応 ★省エネルギー推進と二酸化炭素排出量の削減 ★新エネルギーの普及啓発	燃やすごみの収集量（ｔ）	建設環境課		488	404	453		112.13%	順調	製品プラスチックの収集開始等により、燃やすごみの収集量は減少してきている。	現状維持	引き続き分別の徹底を推進し、燃やすごみ排出量の減少に勤めていく。
				二酸化炭素排出量（ｔ）	建設環境課	阿南町地球温暖化対策計画と「いいむす21」への取組	1,782	1,976	2,373		120.09%	要改善	R5に比べ各施設電気使用量が増えている。	改善	各施設に電気使用量の減少をしてもらえるよう周知していく
				家庭用太陽蓄電池の普及(件)	建設環境課		8	10	1		10.00%	要改善	蓄電池設置が落ち着いてきてしまっている。	改善	広報等による周知を実施
		⑧ふるさと納税制度を活用して、阿南のブランドを発信するとともに、住んでいなくても地域と関わってくれる関係人口の創出に取組みます。	★ふるさと納税制度の活用 ★ふるさとあなん寄附金制度の活用	ふるさとあなん寄附金額(農業支援)(円)	振興課	ふるさとあなん寄付金額（全体）	107,135,000	100,000,000	182,434,000	農業支援：4,821件 一般支援：53件	182.43%	概ね順調	米価格の高騰が続いたこともあり、寄付額の見直し（値上）を行ったが、順調な申込みとなり、申込開始から３日で規定量に達する盛況だった。	現状維持	米の買取り価格に注視しながら、適正な調達価格の設定や、ルールに適したふるさと納税事業の実施を行いたい。
	その他（行財政運営）	健全で持続可能な安定した行財政運営を推進します。	★事業計画の評価の実施 ★地方債の計画的な借入と公債費負担の抑制 ★財政状況の公共と財政運営の透明化の確保 ★公共施設等総合管理計画に沿った施設の管理 ★行政組織機構のあり方と適正な定員管理 ★各種補助制度や住民の負担割合の見直し ★出張所体制の維持と機能の見直し ★地域おこし協力隊制度の活用 ★町税他徴収金の収納率の向上 ★納税方法の拡大の検討 ★接遇力の向上 ★意識改革の推進 ★人事評価制度の継続 ★事務の共同化 ★民間企業等の先進的なDXを活用した現状分析と目標設定	健全化判断比率(実質公債費率)(%)	総務課		3.4	25以下	0	国・県への報告数値	達成	順調	国の定める基準値を下回っており、健全な財政運営が行えている。	現状維持	引き続き、健全な財政運営に努める。
				健全化判断比率(将来負担比率)(%)	総務課		0	0以下	0	国・県への報告数値	達成	順調	国の定める基準値を下回っており、健全な財政運営が行えている。	現状維持	引き続き、健全な財政運営に努める。
				町税の収納率(%)	住民税務課		97.2	98.8	99.4	調定　417,452千円 収入　414,808千円 徴収率　99.4%	100.61%	概ね順調	差押えの実施、臨戸訪問による納付督促の実施	現状維持	令和8年度も引き続き、差押えの実施、臨戸訪問による納付の督促の実施を行う。
				町税以外の収納率(%)	住民税務課		98.5	98.8	99.6	調定　97,231千円 収入　96,885千円 徴収率　99.6%	100.81%	概ね順調	臨戸訪問による納付督促の実施、督促状発送後に間を置かず、最速の電話、実態調査の実行を行った。	現状維持	令和8年度も、臨戸訪問による納付督促の実施、督促状発送後に間を置かず、最速の電話、実態調査のを行う。
				職員研修実施回数(回)	総務課		2	2	2		100.00%	順調	①文書事務入門、②接遇講座、③コミュニケーション講座、④ハラスメントのない職場づくり、⑤安全管理措置対応業務研修の5種を実施	現状維持	引き続きレベルアップや知識習得に資する研修を実施する